

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL. 12 No. 4 TOTAL 479 平成 21 年 8 月 3 日 第 497 回 例会

[例会日] 毎週月曜日 12:30~13:30

[例会場] 和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

[事務局] 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/山田 茂 [会報委員]
副会長/柴田 美和 ◎栗山 久 ○新家 弘通
幹事/中村 善夫 黒田 忠嗣



2009-10年度
国際ロータリーのテーマ
**ロータリーの未来は
あなたの手の中に**
RI会長 ジョン・ケニー

2009-10年度
アゼリアロータリーのテーマ
『地域NO.1のロータリークラブを目指そう!』
- 『和』・『楽』・『チャレンジ50』 -

＜本日の例会＞

- 第 497 回例会 8 月 3 日 (月)
- ☆ 誕生会
- ☆ 外部卓話 作曲家 河野 博様

＜次回のお知らせ＞

- 第 498 回例会 8 月 10 日 (月)
- ☆ 会員増強フォーラム
- 会員増強委員長 辻 曙生会員

＜前回の例会記録＞

- ロータリーソング 奉仕の理想
- ゲスト紹介 なし
- ビジター紹介 なし
- 出席報告 会員数44名
本日の出席 (7/27) 35名 79.54%
前々回修正出席 (7/6) 39名 88.63%
- メイクアップ 役員及びクラブ行事へ 1名

＜四つのテスト＞

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	8月 3日(月)	
和歌山	8月 4日(火)	会員卓話「和歌山経済同友会代表幹事に就任して」
和歌山東南	8月 5日(水)	職業紹介 3名
和歌山西	8月 5日(水)	交換学生、ジェイス・ガーナー君滞在報告
和歌山東	8月 6日(木)	卓話「薬物依存症者の回復支援」
和歌山城南	8月 6日(木)	会員卓話「未定」
和歌山南	8月 7日(金)	軽 音 楽 心 づ け の 劇 「 も う 一 人 の 君 に 一 夏 子 ~」 上 演 を 前 に
和歌山中	8月 7日(金)	卓話「地球温暖化とわたしたちの暮らし」

会長報告



会長 山田 茂

皆様、今日は！昨日、社会奉仕委員会太田委員長以下9名で、国土交通省主催の紀ノ川河川敷の清掃奉仕に参加してきました。今年は、和歌山市内のボーイスカウトも参加しており、多くの市民とともに奉仕活動をおこなってきました。参加していただいた会員の皆様、ご苦労様でした。

さて、今日も雨模様の天気ですが、今年の梅雨は本当に長いですね。私ごとですが、先週の連休に友人と北海道に一泊二日でゴルフに行ってきました。「北海道は梅雨がないから」との理由で場所を決めたのですが、初日は激しい雨と風、二日目は蒸し暑い曇り空と、まるで和歌山でゴルフをしているようでした。これも地球温暖化の影響でしょうか。将来、和歌山は亜熱帯気候に、そして北海道は梅雨空と言った時代が来るかもしれません。ちなみに、今年の梅雨明けの予想は、8月4日頃になるようです。本日は、加納会員による「環境問題とエコカー」というテーマの内部卓話となっております。タイムリーなテーマですので、全員で環境と車の未来について考えてみたいと思います。

それでは、7月21日に開催された理事会の報告に移らせていただきます。

- ①例会場変更～9月7日 東急イン（アバローム使用不可の為）
例会場所及び時間変更の件～10月19日 早朝例会 和歌浦「木村屋」
（開始時間は、委員会で検討中です）
⇒（審議の上、承認）
- ②「和歌山新報」PR記事掲載の件と名刺広告掲載の件
*和歌山アゼリアRCの広報・PRに役立つとの判断
⇒（審議の上、承認）
- ③貝塚コスモス15周年記念例会出席に付、バス仕様の件
*参加者20名とバンド（福本、当中）参加します。
⇒（審議の上、承認）
- ④長期青少年交換留学生募集の件
*世界社会奉仕委員会より、和歌山市立和歌山高専で募集したい。和歌山市及び学校側との協議の結果、全面協力してくれる見込みであるとの報告とアゼリアRCの独自性が発揮できるとの報告、説明あり。
⇒（審議の上、承認）
- ⑤紀の女会出席メイクアップ承認の件

*ロータリークラブの女性会員拡大と交流に役立つとの判断

⇒(審議の上、承認)

- ⑥「今さら人に聞けないーわかりやすいロータリー」と「新入会員へのオリエンテーションーロータリーへようこそ」購入について

*「今さら人に聞けないーわかりやすいロータリー」は、非常に分かりやすく説明されているので、クラブで50部購入のうえ、全員に配布

*「新入会員へのオリエンテーションーロータリーへようこそ」は、新入会員用に20部購入する。但し、現会員にとっても非常に有益ですので、購入を希望される会員は、実費@350円で購入してもらう。

⇒(審議の上、承認)

- ⑦全国ろうあ者連盟創立60周年記念映画上映にかかる後援名義使用許可について

*市内9RCに当クラブより依頼ークラブ毎に検討し、月に1回クラブである和南RCが取りまとめる。当クラブは、連盟の活動趣旨に賛同し、後援名義使用を許可する。

⇒(審議の上、承認)

- ⑧09-10年度予算案について

*前年度決算が出来上がっていないため、審議できず。

⇒(出来あがり次第、審議をする)

- ⑨JR和歌山駅西口地下連絡通路掲示板の有効活用について

*市内9RCが、和歌山市より無償貸与を受けている掲示板の活用について、会員個人、委員会から意見、提案をいただきたい。次回市内9RC会長・幹事会で検討します。(現在は、薬物禁止運動のポスターが掲示されています。)

⇒(理事さん方から担当委員会に下ろしていただき、意見・提案を纏めていただく。)

以上で、本日の会長報告を終わります。

幹事報告



幹事 中村善夫

- ①和歌山東南RC、和歌山中RCより事務局移転のお知らせが届いております。詳細は後ろの掲示板に貼っております。
- ②和歌山南RCより、ビジターフィーが2,500円→2,000円に変更になった旨の通知が届いております。詳細は後ろの掲示板に貼っております。
- ③先程、会長より報告のあった「わかりやすいロータリー」という冊子は会員全員にお配りいたします。また、新会員へのオリエンテーション「ロータリーへようこそ」という冊子につきましては、新会員に対して配布する予定であります。欲しいという会員の方に対しては350円の実費にてお分けする予定になっておりますので、購入希望者の方は、事務局までご一報ください。また締め切りは8月末までとさせていただきます。

ロータリー財団表彰

ポール・ハリス・フェロー・マルチプル3

瀧本スミ代会員



委員会報告

◎広報委員会

常任委員長 柴田美和



7月19日の日曜日に、長寿サロンという番組にアゼリアバンドが出演を致しました。介護施設の方々、車イスに乗られた方も多数参加されておりました。場所はオールドタイムという所でバリアフリーになっており、通常は夜、プロ・アマを問わずバンドの演奏つきのいわゆるライブハウスをされている所です。テレビ和歌山では第1日曜日AM10時、ラジオでは和歌山放送第2土曜日10時30分から放送されます。皆様ごらんになって下さい。

◎ロータリー財団・米山奨学委員会

委員長 野村 伸



ロータリー米山記念奨学会より毎月1回米山記念奨学事業の最新ニュースをお知らせするニュースレター『ハイライトよねやま』を発行されています。今年度より、広報強化のため、米山奨学会より直接クラブに配信されます。毎月配布致しますので、ご高覧よろしくお願い致します。

◎社会奉仕委員会

委員長 太田完治



一昨日26日は国交省主催の紀ノ川一斉清掃に行ってきました。市内9クラブも参加のもと大勢の方が出席されておりました。当クラブからも9名の参加をして頂きました。暑い中ご苦勞様です。佐武さん、冷たいお茶おしほりありがとうございました。



◎青少年育成委員会 常任委員長 安宅浩一



旭学園に本の寄附のお願いで、小さな子供、高校生ぐらいで読める本があればみなさん提供して下さい。集める場所期日は、おって紙面でご案内します。

◎出席プログラム委員会 委員長 井上晴喜



プログラム変更 福本→延期 (8/10会員増強のフォーラムに変更)

国際奉仕委員会 常任委員長 後和信英



世界奉仕、国際交流、ロータリー財団・米山奨学の3つの委員会からできています。①世界奉仕委員会「委員長:白神」では、今年度ロータリー長期青少年交換派遣学生の募集をいたします。②国際交流委員会「委員長:大野」では、昨年度に引き続き、友好クラブ提携を視野に入れつつ会員の総意で進めていきます。③ロータリー財団・米山奨学委員会「委員長:野村」では、ロータリー財団、米山奨学についてより理解を深めていただき、意識をもっていただく。以上世界奉仕委員会の発表とします。

所信表明

クラブ奉仕委員会 常任委員長 吉岡恵美



出席・プログラム委員会は井上晴喜会員に、会報委員会は栗山久会員に委員長をお願いしました。お二人ともベテランですので安心しております。親睦委員長は、とても熱心な西出隆一会員をお願いいたしました。親睦委員会の今年のメインイベントは、「中央アルプスのすばらしい景観を皆で体験したい」という山田会長の強い希望で企画が進んでおります。一泊の親睦旅行は「阿波踊りを皆で体験しよう」以来だと思いましたが、親睦委員会が足腰の痛い方も(私も膝が痛いです)大丈夫なように一生懸命企画してくれておりますので、後日ご案内できる折にはたくさんのご協力よろしくお願ひいたします。とにかくより一層親睦が深まり、楽しい例会ができますように、3委員会が協力し合っていきますので、皆様よろしくお願ひいたします。

職業奉仕委員会 常任委員長 松本良二



職業奉仕は、ロータリーの根幹を成すものである。と言ってもそしたら何をすればいいか、ロータリーでの役割は、となれば難しいものです。本年度の活動方針のメインは職業倫理の向上です。ロータリーの綱領に「業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること」と書かれています。これはロータリアンとして高い倫理を身に付け奉仕に務めなさい。また各自の職業に実践しなさい、と言うことだと思います。今さらこの年になってとか言わずに人生、忘却人になるまで向上しましょう。他の事業計画として社会奉仕委員会や親睦活動委員会と協力して、企業訪問や旅行など行ないたいと思います。インターンシップは少しマンネリ化してきましたが、できれば行ないたいと思います。山田会長の方針である「チャレンジ50」会員も50名を目指す、ということなので新会員さんの名簿の作成補充を迅速に行ないたいと思います。また、今まであまり議論されなかった「互惠」について職業倫理と合せて考えてみたいと思います。

社会奉仕委員会 常任委員長 安宅浩一



入会して初めて理事という役職を任命されました。今年度の社会奉仕部門では、社会奉仕と青少年育成の二つの部門に分かれます。社会奉仕委員長には太田会員、青少年育成委員長には福西会員と心強い委員長と一緒に一年間頑張りたいと思っています。先ず、社会奉仕部門の活動方針ですが、会長からの要望もあり、「アゼリアだから出来る奉仕活動(アゼリア独自の奉仕活動)をもう一つは作ろう」と、「地域に密着した奉仕活動をしよう」のこの二つをテーマに考えました。結果、従来からのワンワン基金は勿論ですが、昨年より始めた町の保健室への協賛、他クラブとの合同奉仕活動への積極的な参加は基本方針ですが、今年度は新たに聴覚障害者の基礎知識や手話についての勉強会を実施した上での支援検討や「汗を流す奉仕活動」をテーマに清掃等の奉仕活動も出来る限り積極的に取組んで行きたいと思っています。次に青少年育成部門では従来からのドラゴンボートへの協賛やライラ事業への協力は勿論ですが、昨年から復帰した旭学園との交流事業も実施したいと思っています。それ以外にも会長からの要望もあり、女性が大半を占めるアゼリアの特色を生かしてインターアクトクラブ・ローターアクトクラブを当クラブで設立出来ないかも検討していきたくと思っています。両部門の活動につきましても皆様方のご協力なくしては出来ません。今年一年間、何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。

SAA 北畑充香



本年度SAAをさせて頂いています、北畑充香です。例会監督という仕事がSAAの仕事です。できるだけ皆さんに楽しんで頂ける例会作りをがんばりたいと思っています。どうぞ皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

卓話

加納達之会員

地球環境問題と電気自動車

●一口にエコカー・低公害車といっても、その種類



はいろいろです。

- ◎エタノールなどのバイオ燃料で走るエンジン車
- ◎エンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッド

◎電池に充電してモーターで走る電気自動車

◎水素と酸素で発電して走る燃料電池車

世界のメーカーが開発に力を注いでいる。

●これらのうち、一部実用になっているのがバイオ燃料と、ハイブリッド車。

実用を目指して開発に取り組まれているのが電気自動車。

電気自動車の歴史

●実は、電気自動車はガソリン車より歴史が古い。100年余り前、自動車の始まりの頃注目を集めたのは電気自動車だった。

電気自動車実用されたのは、1873年
1900年頃には世界で4000台、自動車生産の4割を占める。

だがガソリン車T型フォードの性能と、価格低下によって1920年頃に電気自動車は姿を消した。

●今回は、地球温暖化防止への対応、いわゆるCO₂削減を迫られている中、100年に一度といわれる経済危機で、自動車需要が激減し、とりわけ大型車が厳しいショックを受け、各メーカーは企業の存続をかけてエコカー（環境対応車）、電気自動車などの開発に取り組んでいる。

各メーカーの取り組み

トヨタとホンダは、10年以上前、純粋な電気自動車を発売したことがある。だが現在は純粋な電気自動車から少し距離を置いている。

走行距離を伸ばすには、高価な電池をたくさん積み重ねなければならないからだ。

●ホンダは、今年の2月に、200万円を切る5ナンバーのハイブリッド車「インサイト」を発売した。発売開始から1カ月で18000台の受注を達成して話題を集めた。

一般利用者がいかに環境問題を意識し、エコカーに注目しているかが伺われる。

●トヨタは1997年、ハイブリッド車「プリウス」を世界に先駆けて発売した。今年2月までの販売台数は124万台。

今年5月から発売の新型プリウスは、4月予約開始から2週間で20000台の受注。5月の発売開始から6月17日までの受注が18万台といわれている。

トヨタが今後力を入れようとしているのは「プラグインハイブリッド車」。プラグを使って充電して、モーターのみで走行できる距離が伸びるようになる。

電気自動車については80km程度走れる車を研究とかいわれている。

(地球環境問題と電気自動車(II))

●日産は、ハイブリッド車の開発に投資ができず後れをとった。来年出す電気自動車を日米市場に投入、12年にはルノーと連合して、世界市場で量販するという。

●三菱は、電気自動車「アイミーブ」という小型車を、今年から法人向けに2000台販売の見込みだという。

太陽光発電による充電や、コンビニエンスストアでいつでも充電できるような設備を、グループをあげて研究している。

●富士重工業が、今年販売する電気自動車「プラグイン・ステラ」。走行にかかる電気代は、ガソリン代の40%以下。

●アメリカでも、GMなど電気自動車の開発に力を注いで企業の再建を目指すという。

●中国では、電池メーカーが国営の自動車メーカーを買収して、電気自動車を造ろうとしている会社がある。

電池の革新

●このように電気自動車への取り組みは、古くから試みられながら普及しなかったのは、一にも二にも電池のせい。

高く、重く、かさばって、出力がない。

●だが、ここにきて状況は大きく変わりつつある。各電池メーカーは、夫々に自動車メーカーと連携して、性能の向上と、生産能力の拡大を図っている。

●とりわけ力をいれているのが、リチウムイオン蓄電池だ。従来のニッケル水素電池に比べて、高出力で大容量。小型化、軽量化しやすい。携帯電話に使われている電池です。

産業構造は変わるのか

●電気自動車の普及が進めば、電池会社や、電機メーカーなどが、電池・モーターといった自動車の基幹部品を握るようになる。

●電機大手が自動車メーカーを買収して、電気自動車の製造に乗り出す時代が来るかも知れないとも言われる。

●だがしかし、走る、曲がる、止まる——単純な機能のようだが、一朝一夕にはできない。ガソリン車も電気自動車もクルマに変わりはない。そう簡単に既存の自動車メーカーが、抜かれることは無いと、自動車メーカーの幹部は言う。

エコカーの本命はどれ

●一口にエコカー・低公害車といってもバイオ燃料の車、水素を使う燃料電池車など、自動車メーカーはそれぞれに開発に力を入れている。その中で即戦力のエコカーはハイブリッド車だろう。

●次の期待は、プラグインハイブリッド車かもしれない。

S・A・A報告【3つの箱】

*ニコニコ箱

松田美代子会員 日曜日朝早くからのお掃除の参加の皆様、本当にご苦労様でした。太田委員長、お疲れ様でした。参加できずにすみません。

後和信英会員 加納さん、勉強になりました。ありがとうございます。

柳 あゆみ会員 新年度、早々欠席が続き申し訳ありませんでした。

本日合計額 3,000円 今年度累計額 184,000円

*ロータリー財団

柳 あゆみ会員 本日合計額 4,000円

*米山奨学

後和信英会員 柳 あゆみ会員

本日合計額 14,000円